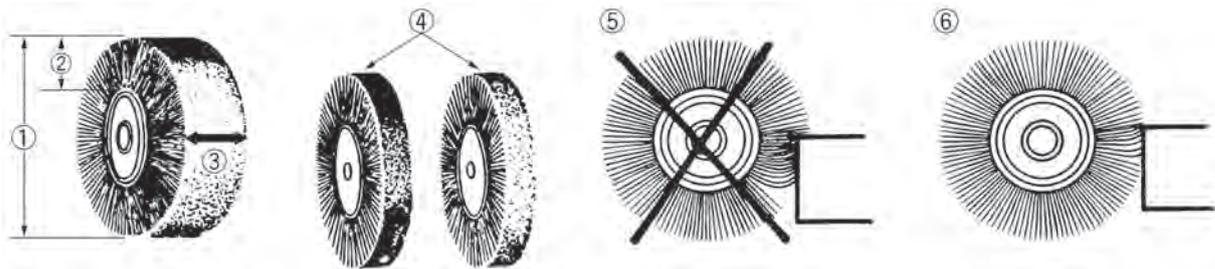


オズボーンブラシをより効果的にお使いいただくために



① 外径

外径が大きいほど効率のよいブラシとなります。携帯工具用には、φ180mm以下をお使い下さい。

② トリム長さ

トリムの長さが短いほど堅く、よく研削するブラシとなります。トリムの長さが長いほど柔軟性があり、複雑な表面によく適合します。

③ 先端幅

カタログ記載の数値は、回転時の数値です。作業に合わせてブラシを重ねて取付けて下さい。先端幅が大きいほど大きい馬力が必要です。

④ ブラシの密度

高密度のブラシは、バリ取り作業の場合等に良好な仕上がりが得られます。密度が低くなれば柔軟性が増し、サビやスケール等をインパクト効果により素早く落します。

⑤ + ⑥ 表面速度と接触圧力

オズボーン社のブラシには、MSFS (Maximum Safe Free Speeds) が表示されています。一般には、これより低い速度がより効率的です。ワイヤーの先端が実際の仕事を行いますので、適切な圧力を選んで下さい。回転数と圧力が低ければブラシの寿命も延び、熱の影響もなくなります。回転数、圧力を低くするように線径、トリムの長さ、密度等を作業に合わせてご選択下さい。

ブラシの取扱いについて

次の事項は、作業安全のためにおたしかめ下さい。

1. ブラシはオズボーンのカートンに入れて保存して下さい。使用前にはサビ・ダメージがないかチェックして下さい。ホイールのバランスがくずれていると寿命が短くなります。
2. 用途に合わせたパワーのあるスピンドルに取付けて下さい。ブラシに対し、フードやカバーが必要です。吸塵装置も良い環境を作ります。
3. ブラシの回転数は、MSFS(Maximum Safe Free Speeds)以下であることが必要です。最適な回転数は、それ以下で得られます。もし効率が上がらない場合は、ブラシの選定を変えて下さい。
4. ブラシはアダプターにより、スピンドルに自由にセットできます。

5. 眼および顔の保護具は、作業及びその周辺の人にはぜひ必要です。また安全確保に適した手袋および靴と防塵マスク、腕および脚部並びに胴体全体を保護する適切な作業着を付けて作業を行って下さい。
6. 機械の始動時には、少なくとも1分間は、ならし運転を行なって下さい。その時、ブラシの前に立たないで下さい。
7. ブラシには、過度の圧力をかけないで下さい。軽い圧力で良好な仕上がりが与えられます。



資料

■ 駆動モーターの所要馬力

